

## 在宅血液透析(HHD)における介助者の心理

医療法人衆和会 長崎腎病院

○田賀農恵 佐藤泰崇 林田征俊 永野 かおり 田中 健 白井美千代 丸山祐子 原田孝司 船越 哲

### 【目的】

施設透析患者が HHD をためらう理由として、「介助者への負担」が推定されるが、実情は不明であるため、今回 HHD 介助者の心理を調査した。

### 【対象・方法】

対象は当院で HHD 施行中の患者 21 名とその介助者(全員患者の家族)。方法は、HHD 移行時、半年に 1 回の手技確認時、年に 1-2 回の患者交流会の時に聞き取り調査を行った。

### 【結果】

HHD 移行時に介助者が賛成した理由としては、「体調改善」が 17 例と最も多く、「長生きして欲しい」が 15 例、「家族との時間が増える」が 5 例であった。HHD 移行後は、介助者が「負担に感じている」と思われる例は 4 例と少なく、多くは移行後の患者の体調改善を喜んでいた。

### 【考察】

HHD 患者は介助者への負担を気にしていることが予測されたが、介助者は患者の予測よりも負担に感じていない可能性が示唆された。透析患者の家族は、近くで接しているため患者の切実さを理解しており、自分の時間や労力を提供する事をためらわないと思われる。